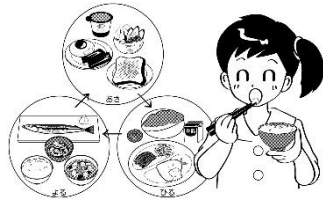


風邪や感染症が増えてきています・・・

大分気候が涼しくなってきました。雨も続いていたり、台風も来ていたりして、この時期は体調を崩しやすい人が多いと思います。保健室も風邪症状での来室が増えてきています。

また、インフルエンザの報告も受けています。2週間後には合唱コンクールも控えています。全力で挑めるよう、睡眠・食事・手洗いといった基本的な感染症対策を心がけましょう。

3食しっかり食べよう



睡眠をとろう



気温に合わせて衣服の調節



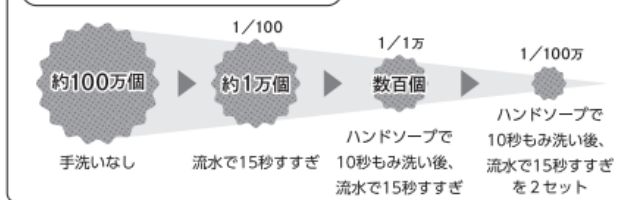
予防の基本は手洗い!

① 石けん&時間

石けんで時間をかけて手洗いすることで、手についた細菌・ウイルスを大きく減らすことができます。



手洗いによるウイルス減少のイメージ図



「新型コロナウイルス感染症の予防」厚生労働省HP, 2020

② 洗う場所

指先から手首まで、部位ごとに意識して洗いましょう。洗い残しやすい場所は特に注意して。

洗い残しやすい部分



インフルエンザ

いつから登校できるの?

2つの条件を両方満たしたら登校できます

発症してから5日経っていること

発熱した翌日を1日目とする

解熱してから2日経っていること

0日目	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目
発症(発熱)	解熱	1日目	2日目			登校OK		
	解熱	1日目	2日目			登校OK		
	解熱	1日目	2日目			登校OK		
	解熱	1日目	2日目			登校OK		
	解熱	1日目	2日目			登校OK		

感染症にかかり、再び登校する際には「登校届」が必要です。学校のHPより印刷できますので、ご提出をお願いします。印刷が難しい場合は学校へご相談ください。

気をつけよう 感染症に



めざせ！ コンディション管理のプロ

がむしゃらに練習すれば強くなれると思いませんか？ 本当に強い選手は、自分の体をよく知って、大切にしています。スポーツをがんばりたい人にこそ、知っておいてほしいことがあります。

CHECK あなたはできてる？ セルフチェック

※○ (3点) ・△ (1点) ・× (0点)

ケア ☐ ストレッチをしっかり行っている ☐ 痛みがあったら早めに対処する ☐ オーバートレーニングにならないよう調整している	睡眠 ☐ 寝る前はスマホを見ないようにしている ☐ 朝すっきり起きられている ☐ 翌日に疲れが残ることはない	栄養 ☐ 毎日3食、欠かさず食べている ☐ 鉄分・ビタミンC・タンパク質などを意識してとっている ☐ こまめに水分補給している
計 点/9点	計 点/9点	計 点/9点

▼▼ 点数が低いところがあったら要注意。それぞれのアドバイスを読んでみてくださいね。 ▼▼



休養のバランスの最適解を探れ！

筋肉は、トレーニングで壊れた後、回復することで強くなります。2つの休養を覚えておきましょう。

▶ アクティブレスト (動いて回復)

軽くウォーキングやストレッチを行い、血流を良くして溜まった疲労物質を外に出す。筋肉痛を軽くし、メンタルも整いやすい

▶ パッシブレスト (静かに回復)

安静にして体をしっかり休め、傷ついた組織を修復する。□例 睡眠や入浴、マッサージなど

POINT



「筋肉をよく使ったな」という疲労ならアクティブレスト、体調不良時や極度の疲労はパッシブレスト。最適なバランスを探ってみましょう。痛みや違和感があるときは早めのケアを。

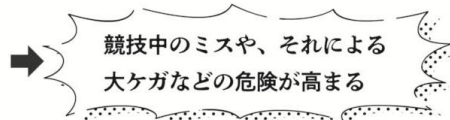


睡眠は時間と質の両方がMUST

スマホを寝る直前まで見ていると、脳で覚醒を促すホルモンが分泌されて寝つきが悪くなり、睡眠の質も下がります。

スマホで睡眠が不足すると…

- ケガや疲れの回復を妨げる
- 脳の疲れが取れないので判断力が鈍る



POINT



寝る1時間前はリラックスタイムに。スマホやタブレットといった光(ブルーライト)を発するデジタル機器は置いて、読書や音楽などを楽しむのがおすすめです。

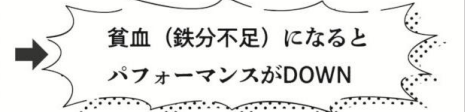


貧血はパフォーマンスにも影響大

スポーツをする人は、トレーニングなどで鉄分が壊れやすく、汗からも失われがち。つまり鉄分が足りなくなりやすく、貧血の危険が高いのです。

貧血だとどうなる？

- 鉄分は血液の成分のヘモグロビンに含まれ、全身に酸素を運搬する役目を担う
- 運動する際のエネルギーを生むには酸素が必要



POINT



鉄分だけでなく、吸収を高めるビタミンCや、ヘモグロビンの材料になるタンパク質も大切。血液をさらさらにして酸素を運搬しやすくするためにも、こまめな水分補給を。